



御祓 菅原神社

思い出しほっなし

明けましておめでとうございます。

早いものでこの度一月で80才の大会に乗ります。10年一昔と言われているようですが、約40年〜50年前の時代を紐解いてみたいと思います。

30才〜40才にかけて年代的に見て小学校のPTAの役員、又、消防団の役員も兼ねているような頃でした。いづれの時代も同じ事が言われます。まず小学校のPTA役員会が早く終わり、年末の消防団の役員会を自宅で開くようになりました。これも早く切り上げ、ビールを呑み、焼酎を呑む頃は夜半をすぎずであり、話はずみ夜明けまで呑んでおりました。

家で待つ各役員の奥様方は、心配のあまりあちらこちら探しておられたのですが、迷惑をかけた事、今でも心苦しく思っています。年末警戒が12月25日〜31日までとなっており、大みそかの10時頃より毎年旧公民館で焼肉会を行っていて、馬刺しと牛肉(すきやき用)を間違えて食べ、生の牛肉のおいしかった事もあり、後日笑話になりました。出初式は当時1月7日と決まっております、回服そのままで熊本市内を闊歩して呑み歩いた事もあり、他町の団員も回服が多かったようです。これは昭和30年〜35年頃まで続いたと思います。以上消防団関係の記事ばかりになりましたが。

【入口武宣】



小田床面白方言「シリーズ」⑥

東京弁に憧れて上京したのがハタチの春。すぐに同級生達と会って中学時代の話になる。方言は使わぬつもりが、それぞれ「ほらー、三年の時のあんしんしえいがさあ、あかんこばささてさ、そいから、こんしんしえいからはいちもかようおくらね。可笑しかったね。」あけくの果て、服の品定め、「こん洋服はデパートで三じえん内もしたとよ。」等々。ホント可笑しかったです。

もう一つ、忘れられん話ですが、皆さんは笑えますか？

「なおよ」と「しまう」の言葉の意味。会社でのある日の事、冬が過ぎ、段々と暖かくなってきたので、事務所のストーブを片付けました。外廻りから帰ってきた先輩が「あれ、ストーブどうしたの？まだ寒いぜ。」私「なおよしました。」先輩「ストーブ壊れたの？」私「？！いいえ？」先輩「壊れてないのに直したの？誰か。」私「すいませーん、壊れてないけど私がなおよしました。」先輩「？？」後日談ですが結局、私がせびらかした事になっていました。いつもべらべらめえ調でこっている人だったのて内心「うとうと良か、ちようれんぼ」と一人で笑いました。「しまう」事を「なおよ」と、こっちは言うですもんね。小田床だけじゃなくあっちこっちと「こーちゃん」使っていますもんね。

【白石富子】

第24回 下田南地区産業文化祭

平成28年度 下田南地区産業文化祭 入賞者

特賞	氏名	作品名
金賞	白石徳美	エッフェル塔
	上野和生	生 姜
	佃トヨカ	ブロッコリー
銀賞	上野幸子	リフォーム
	数本房雄	キャベツ
	上野美代子	生 姜
努力賞	佃恵美子	キューちゃん漬け
	行合律子	紅葉リース
	中上初穂	ネ ギ 根
特別賞	尾崎和美	大 根
	上野京子	カ ブ
	尾崎 勝	白 菜
特別賞	濱崎久義	南 瓜
	上 洋子	貝 工 作
	入ロシズカ	こ た つ 掛
特別賞	白石謙二	大 根 の 部
	上野寛利	カ ブ の 部
	若松重唯	ホウレン草の部

11月27日(日) 下田南地区コミュニティセンターにおいて第24回産業文化祭を開催しました。あいにくの雨でホールインワンや輪投げ大会は、バザー会場となりました。館内陶芸の館で行いました。館内においては農産物(今年は暑い日が続く野菜類が少なかつたようです)や加工品、一般作品、小学生の作品、生け花が展示され、今年度の特賞は白石徳美さんの竹材で作成されましたエッフェル塔でした。皆さんそれぞれ、素晴らしい作品を出品していただき

ありがとうございました。(入賞者参照)表彰式後は、恒例のセリ売りで、若松米雄地域づくり部会長、濱崎正明より完売しました。陶芸の館においては数本哲子委員による衣類食器類等のバザーや、ロビーでは一杯100円のサブレ付きコーヒーマーケット、各委員の方による美味しいカレーバザーで終始賑やかな内に終了しました。スタッフの皆様、地域の皆様、大変お疲れ様でございました。来年度もよろしくお願致します。

